

東海合戦ワールドに出陣 &

あらたまものづくりフェスタ参加

11月29日に東海合戦ワールドに森松武将隊も参加してきました！ 去年まではあいち合戦ワールドという名前でしたが、今年から東海合戦ワールドと名前が変更されました。全国から様々な武将達が参加していて、とても活気のあるイベントでした。

あらたまものづくりフェスタでは、甲冑の試着で参加させてもらい、沢山の親子に甲冑の良さを知っていただくいい機会となりました。

柳原瞬



2016年を迎えて

社長 森直樹

新年あけましておめでとうございます。

昨年を振り返ると、塩ビ業界を取り巻く環境は決して良いものではありませんでした。しかしながら、塩ビの樹脂としての可能性を追求し、より新たな市場、商品を生み出していく企業を目指してきたい。展示会です。1月中旬にはドイツで行われる2つの展示会、「ハイムテクスタイル展（インテリア）」、「ドモテックス展（床材）」を見学します。いずれも初めて見学する展示会ですが、それぞれ業界における最先端の流行を体感できればと思います。デザインに関して言えば、日本では今年も開催されるであろう「PVCデザインアワード」では過去数回の出品経験を通して、これまであまり馴染みの無かった「デザイン」で商品をより際立たせることが出来るのを痛切に感じました。このイベントを通じて、塩ビ業界とその他の世界を繋ぎ、より業界の活性化を促していくことと今年も期待しております。

そしてメールの署名欄に更新しています、今年の一言ですが「1時間、1週、1ヶ月」です。日々の仕事でいつの間にか時間が過ぎてしまう、というのではなく自分がどこへ向かっているかを日々確かめつつ進んでいけるような、そんな日々を過ごすといけるよう、自己管理と思考の整理ができる一年を目指して、この一言としました。2016年度もよろしくお願い申し上げます。



今年がまん

光田 昭男（企画営業部）



年末の人間ドッグで、女医様より優しく通告されてしまった。このままでは糖尿病になってしましますよと・・・数値が良くないのは分かっていたのだが、食生活を考えないと間違いない糖尿病です。そんなに何度も言わなくてもと思いつながら先生の話を聞く。3年間のデータを見比べても血糖値が下がっていないのが気になる。以前よりは、食生活を考えてはいたのだが、営業成績なら数値が上がればうれしいが、私の身体の中は何もかも上がってしまっている。下がっているのは身長だけかな。不適切な食生活。運動不足。過度の飲酒。ストレス。喫煙。喫煙はしていないが、太って血圧が上がった理由が禁煙なのが悔しい。しかし禁煙は良かったと思う。夜食は炭水化物をさける。大好きなカップ麺も食べていない。出来る限りのがまんはしていたが残念な結果だ。最近では、特に体力が落ちていることを感じていた。運動もゼロなのだが夜歩こうと思っても続かない。予防ポイントとを自分で評価してみた。

- ・腹八分目で肥満を防ぐ 評価 △
- ・野菜や海藻、豆・大豆製品をたっぷり 評価 △
- ・魚料理を食べる 評価 △
- ・植物性の脂質と動物性の脂質の比は2:1 評価 ○
- ・塩分は控えめに！ミネラル塩をとろう 評価 ×
- ・こまめに歩く習慣を 評価 ×
- ・禁煙につとめましょう 評価 ◎
- ・過度の飲酒は要注意！週に2日は休肝日を！ 評価 無理
- ・ストレスをためない 評価 無理
- ・やっぱりがまんが必要なのかな。
- がまん
- その1 エレベーターを使用しない。
- その2 月曜日を休肝日
- その3 毎日野菜を食べる。
- こんなことあたりだよ。だけどいろいろがまんします。

2015年を振り返って

黒松 康郎（東京オフィス）



年末の時期になりました。2015年の漢字は「安」となった。多分理由は「安保関連法案」が一番に浮かぶ。それにこだわった「安部総理大臣」。お笑い芸人安村さんの「安心してください、はいてますよ」も思い浮かぶ人が多いのかな。私は今年の漢字は、訪日中国人に代表される、「爆買い」の「爆」と思っていました。訪日外国人数は、前年対比40%UP。その外国人の消費額が3兆円を超えるらしい。100万人近くの人々が来日している。その魅力ある日本には「不安」な事もたくさんあった。多くの子供たちや若者が事件に巻き込まれて、命を失ったことが多かったように思う。海外ではフランスのテロに代表されるようにやっぱ「不安」な事が多い。海外も日本も「不安」。ネットの影響でたくさんさんの事が報道されるから昔に比べて「不安」になっているのか、本当に事件が増えているのかよくわからない。2016年には、伊勢志摩サミットがあります。歓迎される事であるが「不安」も大きい。相当な警備体制になると思われる。2020年には、東京オリンピック。自然災害の「不安」もあるが、テロの「不安」もある。昔は本当に楽しみにできたことが、今は「不安」な気持ちになるほうが多い。平和ボケである日本が良いのか、この「不安」な気持ちで神経質になっていく日本がよいのかよくわからないが、間違いなく日本は「不安」な方向に巻き込まれているように思う。また今年は異物混入という食品会社による謝罪も多く見られた。新聞には、今でも商品回収など謝罪文が掲載されているが、大騒ぎした年初程、最近取り上げられないのも不思議である。そんな絡みで私たちの分野でも品質管理は厳しく、今後も「不安」がつきまとう。デザインの模倣も仕事をやっていく上で「不安」な人も多いかな。2015年は明るい話題はスポーツ関係に感じてしまう。ラグビーワールドカップの日本代表の活躍には興奮した。フィギュアスケートの羽生君にも感動した。2016年も引き続き感動させてくれそうである。

私自身は？2015年は「不安」の中で過ごした感じがする。本当に良いことがなかった。苦しかった。子供2人が受験で合格した事の感動以外思いあたらない。2016年1月東京オフィスはこの場所に開所して10年になります。私1人でやっていた埼玉時代を入れると19年経過したことになります。「不安」な中でも「安心してください」もう少しがんばれそうな気がします。2016年52歳になる私でした。

正月

岩間 正美（森松産業）



新年明けましておめでとうございます。

毎年やってくる正月の意味を考えずにいましたが、ふと気になり調べてみました。詳しく知っている人は読まずに飛ばしてください。正月とは本来、その年の豊穡（ほうじょう）を司る歳神様（としがみさま）をお迎えする行事であり、1月の別名です。現在は、1月1日から1月3日までを三が日、1月7日までを松の内、あるいは松七日と呼び、この期間を「正月」と言っています。地方によっては1月20日までを正月とする（二十日正月・骨正月）こともあります。正月は家に歳神様をお迎えし、祝う行事です。歳神とは1年の初めにやってきて、その年の作物が豊かに実るように、また、家族みんなが元気で暮らせる約束をしてくれる神様です。正月に門松（かどまつ）やしめ飾り、鏡餅を飾ったりするのは、すべて歳神様を心から歓迎するための準備です。そもそも、私たちの祖先は、全てのモノには命がありなんらかの意味がある、という「アニミズム」を信仰しており、作物の生命（いなだま）と人間の生命（たま）は1つのものであると考えていました。そのため、人間が死ぬとその魂はこの世とは別の世界に行き、ある一定の期間が過ぎると個人の区別が無くなり「祖霊」という大きな集団、いわゆる「ご先祖様」になると信じられていました。この祖霊が春になると「田の神」に、秋が終わると山へ帰って「山の神」に、そして正月には「歳神」になって子孫の繁栄を見守ってくれているのだと言います。正月は、日本の行事の中で最も古くから存在するものだと言われています。しかし、その起源はまだ詳しく分かっていません。仏教が伝来した6世紀半ば以前より正月は存在していたと言われています。「お盆」の半年後にやってくる正月は、本来お盆と同じく「先祖をお祀りする行事」でした。しかし、仏教が浸透しその影響が強くなるにつれて、お盆は仏教行事の盂蘭盆会（うらばんえ）と融合して先祖供養の行事となり、正月は歳神を迎えてその年の豊作を祈る「神祭り」としてはつきり区別されるようになったと考えられています。また、現在のようなお正月の行事（門松やしめ飾り、鏡餅などを飾ること）が浸透したのは、江戸時代に入り庶民にも手軽に物品が手に入るようになってからのようです。1年の始めである正月は春の始まり、すなわち「立春」とも考えられており、人々は春の訪れがもたらす生命の誕生を心から喜びました。「めでたい（芽出度い）」という言葉は「新しい春を迎え芽が出る」という意味があります。また新年に言う「明けましておめでとうございます」という言葉は、実は年が明け歳神様を迎える際の祝福の言葉でした。つまり、神様への感謝の言葉を人々の間で交わすことにより、心から歳神様を迎えたことを喜びあったという事です。以上のように意味を知り、新たな年を家族みんなが元気で迎えられることを、ご先祖様に感謝しなければと思います。

名古屋モーターショー

大橋康成（配送部）



2015年11月20日「第19回名古屋モーターショー」が2015年11月23日の4日間、ポートメッセなごや国際展示場にて開催されました。22日に午後から行きましたが、駐車場の朝早く出ました。まず、会場に入れたのは、開場時間は、9時から2号館3号館が、名古屋モーターショーの会場、で1号館同時開催してのが、（あいちITSワールド2015）でした。1号館では、ITS（高度道路交通システム）身近な道路交通情報を送信してカーナビゲーション表示するVICSや有料道路の料金所を停車することなく通過でき、道路に設置されたセンサーと車が通信し運転者から見え難い情報を入力して事故を防止する安全運転支援システムなどの紹介でした。他に趣向を凝らしたラッピングカーショーも装じやなくフィルムでボディに張る実演もしてました。2号館会場には、トヨタ「S-CAR」、日産「グリップスコンセプト」など、東京モーターショーで話題となったコンセプトカーや市販予定車など国内外の最新が、出品されてました。キャデラック、シボレーなどのGM勢、マクラーレンやロールスロイスなどの最新モデルも間近に見ることが出来ました。

